

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2024年1月25日

事業所名: 夢門塾ゆうゆう相生

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	6	2	0	下校時間が重なったり、長期休みなど一斉に学習をするときには手狭になることもあるため、整列をして座るように声掛けなどを行っている。
	② 職員の配置は適切である	7	1	0	適切に配置している。
	③ 衛生面の管理が行き届いている	5	3	0	児童が帰った後の清掃は毎日行っている。時々玩具のすべてを消毒しきれない時があるが、時間を作り適宜消毒をしている。換気や除菌・室温調整など季節に応じて対応している。衛生管理の箇所を担当制にしているが、今後個々が気付き管理をしていけるよう心がける。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	0	毎月の職員会議や日々の朝礼で都度話し合いの場を設けている。会議だけでなく、共有していく情報を業務日誌などを活用して都度確認していく。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	7	1	0	アンケートは実施している。全員が目を通して改善へとつながるようにしていく。
	⑥ 自己評価の結果を公開している	6	2	0	ホームページにて公開している。
	⑦ 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	8	0	0	定期的に社内での研修や職員会議・カンファレンス等を行っている。
適切な支援の提供	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	8	0	0	それぞれの職員のとらえ方・ご家族様からの聞き取りなどを含めて計画の作成をしている
	⑨ 活動の計画をチームで行っている	8	0	0	職員会議にて全員で予定を作っている。
	⑩ 活動の計画が固定化しないよう工夫している	6	2	0	職員会議や個々に計画を確認しながら行っている。過去に行ったところを省くことは難しいが、できるだけ曜日が固定化しないようにしている。移動距離などの関係でどうしても同じような場所になりがちになる。
	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	7	1	0	同じような課題設定になることもあるが、見直しや少し内容を変えるなどしている。時間の都合上平日で難しいことについては休日などで行えるようにしている。
	⑫ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	8	0	0	個別・集団といった活動を分けて計画している。
	⑬ 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	0	朝礼時に個別に対応する児の担当を決め支援をしている。朝礼だけでなく、事前に説明できる分は行い役割分担をしているが説明が抜けてしまっていることもあるため、都度内容を確認し的確に共有できるようにしていく。
	⑭ 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	2	0	児童の様子を分かりやすく記入するようにしているが、全員が知らないことがある。翌日朝礼時などを活用し共通理解へと繋がるようにしていく。
	⑮ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	0	定期的なモニタリングを行っている。
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	5	2	1	様々な視点からプログラムを組むようにしているが、定期的にガイドラインについて全員が認識する機会を作っていく必要がある。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	0	学校から直接予定をもらうことはない。保護者からもらうようにしているが、全員ではないため、情報がない学校もある。利用予定表の提出時に学校の予定表はないかなどの呼びかけをしている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	7	1	0	児童発達から放課後等デイへ繋がる児童については情報共有をしている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	2	3	2	相談支援事業所経由での情報は提供しているが、直接は出来ておらずしていく必要がある。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4	3	助言や研修を受けていないため、取り入れていく必要がある。今後機会があれば参加していきたいと思う。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	7	1	0	送迎時等に話をし、その時の児童の課題性を互いに理解できるようにしている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	7	1	0	都度丁寧に対応するよう心掛けている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	8	0	0	必要時にはその都度対応するようにしている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	8	0	0	保護者会を開催し、異年齢や学校が違うなど様々な方が交流する場を作れた。もう少し定期的に開催できるように工夫していく。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	0	苦情連絡があった場合は迅速に対応するようにしている。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	7	0	1	夢通信・夢だより・ブログの更新を定期的に行っている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	8	0	0	広報誌等については契約時にいただいた個人情報使用同意書をもとに注意している。その他についても注意しておこなうようにしている。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	送迎時に伝えるだけでなく、メモを渡す・コドモンで配信するなどして工夫している
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	0	6	2	地域住民の招集はしていない。来年度はかかし祭りなど地域行事に積極的に参加していけるようにする。地域行事(かかし祭り)を見に行くことはできた。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	7	1	0
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	8	0	0	年に2回避難訓練を実施している。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	0	研修に参加し、知識向上に努めている。研修時にはわからないことを質問し、適切な対応へと繋がるようにしている。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	8	0	0	身体拘束をしないといけない児童がいない。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	7	1	0	与薬表を活用し、複数人で服薬が完了するまで確認するようにしている。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	8	0	0	ヒヤリハット発生時には報告書を記入して共有するようにしているが、どんな小さなことでも定期的に報告していくよう周知する。また定期的に振り返りの場を設ける必要がある。
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
通所年数が長くなってきている児童が増えている中で、同じ外出先でも内容を変えるなどして「行きたい」と思ってもらえるような工夫をしていきたい。地域行事についても情報収集をし、可能な限り参加をしていく。						